

生涯学習 & スポーツ を 考えるワークショップ

No.2
2025年5月
発行

第2回レポート

安城市では、より良い生涯学習・スポーツの環境を整えるため、令和7年度中に「安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）」を策定する予定です。

この計画を、多くの市民の方々の参加のもとで、学習・研究活動を進めながら意見を述べ合って、取りまとめていくために「安城市生涯学習推進計画（生涯学習・スポーツ）作業部会(ワークショップ)」を開催しています。

ここでは、第2回作業部会(ワークショップ)の様子をお知らせします。

第2回ワークショップの開催

生涯学習A・Bグループは4月26日（土）、スポーツC・Dグループは5月10日（土）に第2回ワークショップを開催しました。

第2回ワークショップでは、まず「生涯学習・スポーツの推進に必要なことを考える」をテーマに3つのグループワークに取り組み、その後「解決すべきこと（課題）」について話し合い、その内容をグループごとに発表して、意見やアイデアを共有しました。

今回のワークショップでは、生涯学習の2グループとスポーツの2グループが異なる日程でそれぞれの分野の課題について話し合いました。



前回のワークショップ後に行ったインタビューなどの結果も交えて意見を出し合い、結果を発表しました。

各グループの主な意見

●...ワーク①「現在活動に取り組んでいない人は、なぜ取り組んでいないのか」についての意見

○...ワーク②「現在活動に取り組んでいる人は、なぜ継続できているのか」についての意見

◎...ワーク③「もっと活動したい人が求めているニーズは何か」についての意見

★...「解決すべきこと（課題）」についての意見

A グループ（生涯学習）

- 場所がない、あるいは分からない
- きっかけがない、つかめない
- 仲間がいる、仲間が出来る
- 生活の一部になっている
- ◎ 活動できる場所が他にもほしい
- ◎ 大会やイベントの開催

★ 情報発信が課題

★ 「仲間」がキーワード どのようにして仲間を見つけるかが課題

★ コミュニティセンターの活用

★ コーディネーターの養成

B グループ（生涯学習）

- 取り組みたいものがない
- 講座の内容・場所をよく知らない
- 活動が楽しいから
- オンラインを上手に活用している
- ◎ 情報交換ができるもの
- ◎ 市民企画講座の拡大

★ すべての世代に対応するような情報を出す

★ オンライン講座の活性化

★ シルバーカレッジの充実化・再編成

★ やりがいにつながるような学習の計画

C グループ（スポーツ）

- 身近なスポーツチーム、クラブがない
- 仕事、家事、子育てで忙しい、時間がない
- 仲間がいると続けられる
- 良い指導者、教えてくれる人がいるから
- ◎ 子どもと一緒にいることができること
- ◎ 気軽に続けられる雰囲気

★ スポーツ情報の広報、市内の民間を含めたスポーツ情報一元化

★ 多世代、多様な人が時間・空間を共有しながらスポーツをする

★ 子ども達が平日にスポーツができる時間を学校の授業内で確保することが重要

D グループ（スポーツ）

- 会場にアクセスできない
- スポーツの楽しさがわからない
- スポーツのメリットを理解している
- 仲間がいて楽しいことを知っている
- ◎ 部活動の民間への紹介を具体的に行う
- ◎ 施設の予約をWEB上でしたい

★ 施設へ行く方法がない

★ 施設の予約が面倒

★ 競技ごとの指導者講習が必要

★ 結果、発表、試合の機会が少ない